

パパ・ママ子育て知恵袋

第29回は「おバカさん」

男を3人育てた経験と、小学生の男子たちと接してきた経験から「男の子はおバカさんだ」ということが、よくわかりました。「なんでそんなことをするの？」というようなことをします。

階段の踊り場から一番下まで飛び降ります。
ジャングルジムのてっぺんから、友達を突き落とします。
長い棒をもつと、やたらと振り回します。
給食中に隣の女子に口の中にあるぐちゃぐちゃを見せます。

「そういうことをしたら、どうなるかわからないのか！」と叱っても無駄です。なぜなら「わからない」からです。考えもしないからです。

「おバカさん」なのです。

いっぱいケガをして、たくさん叱られて、痛い思いも繰り返して、ちょっとずつ物事を考えるようになります。
「おバカさん期」は、だいたい中2くらいまで続きます。

お母さんが男の子を叱っています。
男の子は泣きじゃくっています。
「本当にあんたはバカなんだから！ もういい。早くご飯食べちゃいなさい」。ひっくひっくとしゃくりあげながら、あったかいご飯を食べる男の子。
叱られてもお腹はへります。

この子は、この先、何度も叱られるでしょう。
でも、**あったかい場所**があるから大丈夫。「安心して叱られなさい」と言ってあげたいです。